

市民記者が行く！広報サポーターレポート

知っているようで意外と知らない 市長に密着リポート



広報サポーター
長瀬拓也さん(高島町)

私たちが生活しているまち、西尾市。「この西尾市の市長は誰でしょう?」と問われれば、「皆さんご存じかと思いますが、「どんなことをしているでしょう?」と問われたら、答えられるでしょうか。

私たちのまちの市長は、普段どんなことをしているのか。知っているようで意外と知らないこの内容を、今回は実際に10月25日の市長の公務に密着し、



1



2



3

リポートするとともに、市政とはまた違う、私生活の部分もお伺いしました。

密着の最初の公務は、矢作川クリーン作戦です。冒頭にあいさつをされた後は、早速、川の周辺へ。途中、すれ違うほとんどの方に声を掛けながら、同行の私よりも早くにごみを見つけ集めてみました(写真)。この清掃の中で、「幼少期は、みどり川にホタルが生息していて、よく川で遊んでいました。こうした清掃活動によって、またいろいろなところで自然が戻ればいいですね」と生き生きと話がされていました。

その後公務は続き、にしお福祉まつりでのあいさつ(写真)。



4

その後も公務は続き、にしお福祉まつりでのあいさつ(写真)。



5

吉良文協フェスティバルでの作品鑑賞(写真)、市消防団観閲式での閲団(写真)と、市内のさまざまな行事に参加されました。「実際に行事に参加することで、市民の皆さんが活躍する姿をより近くで見ることが出来ます。今日はそうした活動がたくさん見られて良かったです」と話をされていました。

今回のように、行事が集中する秋はさまざまなお話を回ることが多いそうで、全てのイベントを事前に把握し、参加される姿は、私も一社会人としてとても勉強になりました。

取材を通して、市長の公務を垣間見ることができましたが、それ以外にも、私たちの成人式

のときに拝見した市長の吟について「しゃべる練習になるし、肺活量も増します。最近になって始めた趣味ですが、なかなか楽しいですよ」といったお話や、私の叔父と市長が同級生で、「昔から部活も同じで、二人でよく遊んだものだよ」といった少年期のエピソードなど、ここでは書ききれないさまざまなお話を伺うことができました。

話題が尽きない今回の密着リポートを通じて、以前よりも「市長」を少し身近に感じることができました(写真)。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。

